

Ælfricの「聖ユーゲニア伝」をめぐって

—— Diplomatic Text of ‘the Life of St. Eugenia’
in Ælfric’s *Lives of Saints*, Trial Version

島崎 里子

Ælfric’s Attitude towards Women in ‘Life of St. Eugenia’

—— Diplomatic Text of ‘the Life of St. Eugenia’ in Ælfric’s *Lives of Saints*, Trial Version

SHIMAZAKI Satoko

In his *Lives of Saints*, Ælfric (c. 955-c.1010) dealt with the Life of Saint Eugenia, which is one of the most popular legends of the transvestite saints in Medieval Europe. It is worth to discuss how Ælfric treats Eugenia in the story, which inevitably contains the matters of sacred and secular sexuality. For further investigation, this article provides the diplomatic text of Ælfric’s ‘Life of Saint Eugenia’ in MS Cotton Julius E. vii, British Library, and compares in detail the newly edited text with Skeat’s edition.

1. はじめに

聖ユーゲニア (Saint Eugenia) は、紀元3世紀にローマ皇帝セウエルス (Lucius Septimius Severus: 146-211) による拷問を受けた末に殉教した処女聖人である。信仰の道を求めて、女性であることを隠して女人禁制の修道院に入り、修道院長にまでなった。その生涯については、歴史的な裏付けには乏しいものの、「(彼女の) 物語は、初期中世の西欧および東方キリスト教国に流布した女性の異性装 (transvestite) 聖人のうち最も人気のある伝説の一つであった」¹。このような、聖と俗、男女の性の問題を必然的に内包する物語を、エルフリック (Ælfric of Eynsham: c.955-c.1010) は、代表作『聖人伝』の中に敢えて採用している。聖職者の生涯独身制を強く主張し続けたエルフリックが、この女性聖人をどのように扱っているのか、彼以前の主な英国人宗教作家たちの場合と比較しながらエルフリックの特徴を考察する。考察にあたり、本稿ではまず、エルフリックの「聖ユーゲニア伝」のテキスト (MS Cotton Julius E. vii, British Library) を、新たに写本に忠実な電子テキストの形に校訂し、既存の刊本 (Skeat, 1891-1900) との異同を精査する。

2. Ælfricの‘Life of St. Eugenia’ (「聖ユーゲニア伝」) について

エルフリックが「聖ユーゲニア伝」を執筆するにあたって参照したと考えられるラテン語の原典については諸説あるが、Biggs (2001) によれば、Abbo of Fleury (c.945-1004)

のラテン語による *Passio* との類似性が最も高いとされている²。エルフリックの手法は、複数の原典を組み合わせつつ、部分的に独自の加筆や修正を施して新たな作品を作り出すもので、当時の英国宗教界では一般的に用いられていた方法であった。「聖ユーゲニア伝」もまた、複数の原典の組み合わせによって執筆されたと考えられている。「古英語期の英国において、ユーゲニアの伝説は早くから広く知られており、教会暦や殉教伝でも言及されている」³。アルドヘルム (Aldhelm: c.640?-709) のラテン語による *De Virginitate* (『純潔性について』) やベータ (Bede: 673?-735) の *Martyrologium* (『殉教伝』)、作者不詳 (9C) の *Old English Martyrology* (『古英語殉教伝』) にも採用されており、エルフリックがこれら彼以前の作家たちの作品を参照した可能性は高い。なお、Aldhelm の *De Virginitate* では、韻文、散文の両方の作品で聖ユーゲニアを扱っているのに対して、Bede の *Martyrologium* では、聖ユーゲニアの祝日自体は採用されておらず、ユーゲニアの名前が、聖プロトスと聖ヒアキントス (Sts. Protus and Hyacinth) の祝日 (Sep. 11) の中で言及されているのみであるなど、作者によって対応は異なっている。

エルフリックの「聖ユーゲニア伝」のあらすじは次の通りである。

ローマの高官フィリップスと妻クラウディアの娘ユーゲニア (エウゲニア) は、父の赴任先のアレクサンドリアでギリシャやローマの学問を修めるうちにキリストの教えに触れる。更なる学びを求めて (当時、キリスト教徒は全てアレクサンドリアから追放されていた為) 父母の元を去り、2 人の従者を連れて密かに旅に出るが、その際、髪を切って男装し、従者たちを兄弟と偽って、キリスト教徒たちの修道生活に加わる。3 年後に大修道院長が亡くなると、日々の敬虔な行いから、ユーゲニアがその後任に選出される。彼女には、神の加護によって、あらゆる病を癒す力が与えられる。

ある時、メランティアという富豪の未亡人が、重い熱病でユーゲニアのもとを訪れ、たちまち治癒したのをきっかけに、一方的にユーゲニアに入れ上げ、彼女を男性と思い込んで、肉体関係を持とうと誘惑した。ユーゲニアが拒絶すると、今度は彼女を貶めるべく、自分が危うく陵辱されなかったとして、彼女を強姦罪で告訴する。アレクサンドリアの長官 (実はユーゲニアの父親フィリップス) は、メランティアのユーゲニアに対する中傷を信じ、一旦は彼女と従者たちを投獄するが、裁判でユーゲニア自らが女性である事を明かし、彼女が自分の行方不明の娘である事が判明すると、一同は喜び合って神を讃える。メランティアの行いには、神が天上から炎を放ち、彼女の家財を全て焼き払う。ユーゲニアの家族とその他の多くの人々は、後にキリスト教に改宗する。

長官フィリップスの保護のもと、アレクサンドリアがキリスト教徒で溢れると、異教徒たちはこれを嫉み、フィリップスが全ての市民をキリスト教徒に改宗させようとしているとして、彼を皇帝に告訴した。皇帝は激怒し、既に司教となっていたフィリップスに対して刺客を差し向け殺害させた。ユーゲニアは修道女のための大聖堂を建立し、父を埋葬すると、母や 2 人の兄たちと共にローマへ移り住んだ。ユーゲニアのもとへ多くの乙女たち

が集い、キリスト教に改宗した。

高貴な家柄のバシラという異教徒の娘は、ユーゲニアが遣わした従者2人の導きで受洗すると、ユーゲニアと共に多くの人々をキリスト教へ改宗させた。ユーゲニアの母クラウディアは多くの未亡人たちを、2人の従者たちは多くの若者を、キリスト教に改宗させた。バシラは、高貴な生まれの異教徒ポンペイウスからの求婚を拒絶した為、剣により殉教する。ユーゲニアの2人の従者たちも、異教の神々へ生け贄を捧げるのを拒み、斬首された。ユーゲニアは、異教の神への祈りを拒み、キリストに祈りを捧げたところ、異教の神殿は崩壊し、偶像も崩れ落ちた。皇帝は彼女を水中に沈め、釜茹でにし、牢獄に幽閉して食事を与えなかったが、救い主によって無傷を保った。その後、キリストの降誕日に死刑執行人が送り込まれ、ユーゲニアは神の預言通りに帰天する。母クラウディアは娘を埋葬し、幻の中にユーゲニアの姿を見出すと、その預言通り、日曜日に亡くなった。ユーゲニアの2人の兄たちは、キリスト教の信仰を生涯守り通した。

エルフリックのユーゲニアへの対応について、Roy (1992) はラテン語の原典とは大きく異なると述べている。ユーゲニアが髪を切り、男装することについて、ラテン語の原典が、周囲の目を欺くために女性性を隠し、男性として振る舞うことを重視して描いているのに対して、エルフリックは、ユーゲニアの信仰を求める強い気持ちや純潔を守ることに焦点を当てて描いているとしている⁴。

ユーゲニアが女人禁制の修道院で男性として暮らすことについて、ラテン語の原典は次のように描いている。

'Illa vero virile habitu et animo, in predicto virum monasterio permanebat'

[Indeed she remained in the aforesaid monastery of men with the dress and mind (or courage) of man]. (qtd. in. Roy: 7. 斜体は原文の通り)

ラテン語の原典が⁵、*"virile habitu et amino"*として、ユーゲニアの心だけでなく外見についても触れているのに対して、エルフリックの古英語訳はこの箇所を、*"mid wærlīcum mode . þeah þe heo mæden were . (Skeat: 30)"*「(女性でありながら) 男性の心を持って (with a man's mind, though she were a maid. Skeat: 31)」と訳出している。外見の部分を削除することで、聴衆の関心を内面に向け、精神面の重要性を強調する効果を上げているとも考えることができる。

また、Szarmach (1990) は、エルフリックの作品には、性をめぐるさまざまな立場の人物が複雑に描き込まれていることに言及している⁵。すなわち、ユーゲニアと2人の従者プロトスとヒアキントスは、前者は男装することで女性性を排除され、後者は宦官として男性性が失われた、共に非性的な人物として描かれている。また、メランティアとポンペイウスは異性を強力に求める男女であり、クラウディアは敬虔な未亡人、バシラは処女で

ある。エルフリックの『聖人伝』は、彼のパトロンである熱心な在家信者ウェセックスの領主エゼルウェアルド (Æthelweard: fl. c.975-98) とその息子のエゼメル (Æþelmær: fl. 983-1005) の求めに応じて執筆された作品である。エルフリックは、彼らに信仰上の指針を与えることを念頭に、既婚の聖人や女性聖人などを敢えて積極的に採用して、さまざまな立場の人物を描いている。Szarmach の指摘は、エルフリックの執筆に対する姿勢を捉えていると言えるだろう。

3. Diplomatic Text of 'the Life of St. Eugenia' in Ælfric's *Lives of Saints*, Trial Version の編集方針について

Ælfric の「ユーゲニア伝」の写本には下記の 2 つが現存する⁶。

London, British Library, MS Cotton Julius E. Vii (J): 11 世紀前半 ff. 9v-15v.

London, British Library, MS Cotton Otho B. x. (O): 11 世紀 f. 10.

編集方針の概要については、島崎 (2016) において言及しているが⁷、以下に再録する。括弧の中のアルファベットは本稿における写本の略称を表わし、ff. はフォリオ番号、世紀は写本の推定制作年代を表す。J 写本は作品全体が収録されている唯一の現存写本であり、Skeat (1891-1900) もこれを底本としている。言語的には Late West Saxon の特徴を示している。O 写本は Cotton Library の火災 (1731 年) で大きく破損し、部分的にのみ判読可能な状態である。

既存の刊本は、*Lives of Saints* 全体を扱った Skeat (1881-1900) のみである。これは、J 写本をベースに O 写本との相違を注に記し、原写本をほぼ忠実に転写した diplomatic edition であるが、100 年以上改訂されていない。また、写字生による文字の消去や修正など、写本そのものについての情報は少ない。そこで本稿では、既存の刊本の情報を踏まえつつ、Ælfric のテキスト執筆の意図を明らかにすべく、可能な限り原写本を再現することを念頭に、文字以外の句読点などの情報も正確に記録した diplomatic text の編集を行う⁸。

4. 記号・省略記号と意味

本稿の diplomatic text で使用されている記号とその意味は以下の通りである⁹。

f	folio
r	recto
v	verso
J	London, British Library, MS Cotton Julius Vii
%	写本では単語が結合して見えるが、別々の語として分割する
_	写本では単語が離れて書かれているが、一語として結合する
-	写字生によって記されたハイフン

//	フォリオの末尾
太字	彩色や装飾が施されて、他の文字よりも目立つ文字
斜体字	省略記号によって省略され、実際は写本に書かれていない文字
()	もともと書かれていた文字が写字生によって消されている、文字の書かれていない空白スペースがある
[]	写本に書かれた文字は、実際には写字生によって消されている
{ }	もともと書かれていた文字が、写字生によって修正されている
‘ ’	行間に書かれた挿入文字。Original handのみ採用する
3	punctus elevatus
7	andの省略文字
@	pにバーが入った省略文字。Pætを表わす
<	ラテン語の語句

5. 既存の刊本の検証結果

Skeat (1891-1900) は基本的に写本に忠実な転写を行っているが、部分的に独自の修正を施し、その場合には脚注に写本との相違を記している。本テキストは、J写本の原写本を閲覧して Skeat (1891-1900) との相違を検証し、新たに修正を加えたものである。以下に検証結果をまとめる。

表 1 Life of St. Eugenia ff. 9v-15v

	Skeat (1891-1900)	Dipromatic Text, Trial Version (2019)
J10r02	middan-eard	mid-dan_eard ※行末ハイフンあり
J10r03	philippus	phi-lippus ※行末ハイフンあり
J10r26	alexandrian	alexandri-an ※行末ハイフンあり
J10r29	gentium	gen-tium ※行末ハイフンあり
J10r30	demonia . cælos	demonia 3 celos ※ punctus elevatus
J10v12	þær	þær ※小文字
J10v21	messe-preost .	messe_preost ※ punctus なし
J11r16	modes	mo-des ※行末ハイフンあり
J11r23	eallum	eallum ※uの上に省略記号あり
J12r28	philippus . eugenian	philippus eugenian ※ punctus なし
J12v01	stæmne opþæt	stæmne . op@ ※ punctus あり
J12v15	onsage mid	onsage . mid ※ punctus あり
J13r16	protus . et	protus et ※ punctus なし
J13v11	æhtnysse on	æhtnysse . on ※ punctus あり
J13v22	casere sædon	casere . sædon ※ punctus あり
J13v25	wære	wæ-re ※行末ハイフンあり
J14r07	ge-bædum	ge_bæ-dum ※行末ハイフンあり
J14r09	gefrefrode	gefrefro-de ※行末ハイフンあり

	Skeat (1891-1900)	Dipromatic Text, Trial Version (2019)
J14r10	sipþan	sip-þan ※行末ハイフンあり
J15r19	tempel	tem-pel ※行末ハイフンあり
J15r26	brymme	brym-me ※行末ハイフンあり
J15v11	asend	a-send ※行末ハイフンあり
J15v16	gefrætewode mid	gefrætewode . mid ※punctus あり

Diplomatic Text of Ælfric's 'Life of Saint Eugenia,' Trial Version

J: Cotton Julius E. Vii (British Library, London)	J 10r17	mæden . wel þeah on wisdom . 7 on uðwytegunge .
Folios 9v-15v	J 10r18	þa becom hyre on%hand þæs halgan apostoles lar
J 9v31 EODEM DIE NATALE SANCTE EUGENIE UIRGINIS .	J 10r19	paules þæs mæra {a}n ealles manncynnes lare'o'wes .
J 9v32 MÆG GE_HYRN SE ÐE WYLE BE þAM HALGAN //	J 10r20	þa wearð hyre mod mycclum on_bryrd þuruh þa
J 10r01 mædene . eugenian philypus dæhter . hu heo ðurh mægð_	J 10r21	halgen lare . þeah ðe%heo þa gyt hæðen wære . Heo
J 10r02 had mærlíce þeah . 7 þurh martyr_dom þisne mid -	J 10r22	bæd þa hyre fæder @ heo færen moste geond his ha_
J 10r03 dan_eard ofer_swað . Sum æpel_boren þægn wæs phi -	J 10r23	mes on%alexandisce scyre . wolde swa cepan þære
J 10r04 lippus gehaten . ðone asende se() casere commodus	J 10r24	cristenra lare . forðan þe%heo næfde on%ðære byrig
J 10r05 þe%on ðam dagum rixode . fram rome byrig to%ðære byrig	J 10r25	nænne geleafful()ne mann() . þe%hi læren cuþe . for_
J 10r06 ðe is gehaten alexandria . 7 he hine ges{c}tte to heah_	J 10r26	ðan philippus aflygde þa cristenan of alexandri- an . ealle on ær . Hwæt þa EVGENIA ardlice
J 10r07 gerefan ofer alexandrian . 7 ægyfto lande . 7 het @	J 10r27	fær_
J 10r08 he heolde þa romaniscan gesætnysse . Ðæs ðægn phi_	J 10r28	de . oð_@ heo becom þær ða cristenan sunge mid
J 10r09 lippus . næs na gefullod on %gode . forþan þe cristen_	J 10r29	mycelre blisse þus mærsigende god . <Omnes <dii <gen -
J 10r10 dom næs þagyt geond eall cuð . 7 seo r{c}þe æhtnyss	J 10r30	tium <demonia 3 <dominus <autem <celos <fecit . Ealle
J 10r11 þa%gyt næs gestylled . His wif wæs gecyged claudia .	J 10r31	þære hæðenra godas syndon deofla . 7 dryhten soð_
J 10r12 be þære he gestrynde twægen suna . auitum . 7 sær_	J 10r31	lice heofonas geworhte . Eugenia þa mycclum wearð
J 10r13 gium . 7 ane dohtor eugenian . þe%we embe spræcaþ .	J 10v01	onbryrd . 7 mid wope gespræc hire twægen cnihtas .
J 10r14 Ða be_fæste se%fæder philippus to lare . @ heo on%wo_	J 10v02	þære naman wæron . protus . et iacinctus . þa wæron
J 10r15 ruld_wy/sdome wære getogen . æfter grecisce uðwy_	J 10v03	gelærede on leden . 7 on%grecisc . mid eugenian mid
J 10r16 tegunge . 7 lædenre getingnyssse . Eugenia þa @ æðele_	J 10v04	woruldlicra lare . 7 wæron eunuchi . @ synt belis_

J 10v05	node . 7 wæron heora hlæfdige holde 7 ge_trywe .	J 11r01	had mycclum gelicode . þam heofon_lican cyninge . þe
J 10v06	Ða nam eugenia hi on%undorspræce . het hi gebro_	J 11r02	heo gecoren hæfde . 7 cwæð @ heo sceolde swiðlice
J 10v07	ðra . 7 bæd @ hi hyre fæx forcurfon on%wæpmonna	J 11r03	æht_nyssa . for mægð_hade ðrowian . 7 þeah beon ge_
J 10v08	wysan . 7 mid wædum gehiwodon . swylce heo cniht	J 11r04	scyld þurh þone soðan drihten . þe%ge_scyldt his ge_
J 10v09	wære . () wolde ðam cristenan genealecan on	J 11r05	corenan . To hire twam cnihtum . he cwæð @ hi heol_
J 10v10	wærlicum hiwe . @ heo ne%wurde ameldod . Hi færdon	J 11r06	dan æpel_borenyss on mode . þeah þe hi mannum
J 10v11	ða þry . 7 heora gefæran forleton . oð@%hi becoman	J 11r07	þeowdon . 7 cwæð @ hi crist gespræce þysum godspel_
J 10v12	to ðære cristenra wununge . þær hi dægēs 7 nihtes	J 11r08	licum wordum . Ne hate ic eow na þeowan . ac ge
J 10v13	heora drihten heroden . On%ðam ylcen%dæge com	J 11r09	synd mine freond . þa be_bead se biscop þam gebogenan mædene . @ heo swa þurh_wunade .
J 10v14	sum bisceop helenus gehaten . haliges lifes . mid my_	J 11r10	on
J 10v15	celre meniu . an_modlice singende . <Uia <iustorum	J 11r11	þam wærlicum hiwe . oþ@ hi on%fante gefullode
J 10v16	<recta <facta <est . <et <iter <sanctorum <preparata <+ . @ is þæra	J 11r12	wurdon . 7 mynster_licre drohtnunge . dearnun_
J 10v17	rihtwisra wæg . is geriht_læced . 7 þæra halgena	J 11r13	ge ge_þeodde . Eugenia þa wunode on%þam myn_
J 10v18	siðfæt is ge%gearcod . Þ_es bisceop worhta fæla wun_	J 11r14	stre mid wærlicum mode . þeah þe heo mæden wære .
J 10v19	dra þuruh god . 7 him wearð geswutelod on%swæfne	J 11r15	mid hyre twam cnihtum . uncuð gehwam . 7 heold
J 10v20	be þy_sum . 7 call þæs mædenes mod him%wearð amel_	J 11r16	on hyre þeawum halige drohtnunge . ðurh mo - des liþnesse . 7 mycelre eadmodnesse . 7 þurh
J 10v21	dod . Ða gespræc @ mæden sumne messe_preost	J 11r17	halige mægnu . þam hælende ge_cwæmde . Heo
J 10v22	Eutropius gehaten @ he hyre ærende abude þam	J 11r18	þeah on%lare . þæs rihtan geleafan . 7 on godcund_
J 10v23	bisceope . þysum wordum geornlice . we ðry ge_broðra	J 11r19	licum gewrytum mid godum wyllan . 7 wearð awend
J 10v24	wyllað gecyrran fram þam fulan hæðen_scype . to	J 11r20	of wulfæ to sceaþe . Hyre ge {e}uenlæhton . eac hyre cnihtas . protus . et iacinctus . on synderli_
J 10v25	hælende criste . 7 we nellað nates hwon . us næfre	J 11r21	cre droht_nunge . 7 hyre digolnysses eallum be_
J 10v26	to_tweman . þa%þæs on%{e}rgen se mæsse_preost	J 11r22	dyrdon . Philippus ða se fæder forwearð on mode . 7 seo modor claudia . mid murc_nunge
J 10v27	abeað þæs mædenes word . þam mæron bisceo_	J 11r23	wæs for_numen . 7 eall seo mægð on mode wearð
J 10v28	pe . þa het se bisceop hi gelangian . mycclum þan_	J 11r24	astyred . 7 sohten @ mæden mid mycelre sar_
J 10v29	ciende þam ælmihtigan gode . @ he wolde him on_	J 11r25	nysses . Hi axoden æt wyccum 7 æt wisum dry_
J 10v30	wreon þæs mædenes wyllan . He genam hi þa onsundron . 7 sæde hyre gewislice . hwæt heo	J 11r26	um . eac æt heora leasum godum . be þære godes þinene . Him wearð þa ge_sæd to soþum
J 10v31	man	J 11r27	þinge . @ ða godes hi ge_gripon for hyre god_
J 10v32	ne wæs . 7 hwylcere mægþe . 7 @ heo þurh mægð //	J 11r28	nyss()e . þa gelyfde se fæder þære leasunga
		J 11v01	7 het asmiðigen . of smætum golde hyre anlycnysse .

J 11v02	7 þa wurðode swa swa halige gydenan . ac hit wæs	J 12r01	nung{a} . þa wearð heo mid yfele . eall afylled . 7 gebræd
J 11v03	gold swa þeah . Ða æfter þrym gearum . þæs þe heo	J 12r02	hi seoce mid bysmor_fullum gepance . Heo bæd þa
J 11v04	gecyrrred wæs gewat se abbot þe%hyre ealdor wæs . 7	J 12r03	eugenian . @ heo hi geneosode . 7 ongan hyre sæcgan
J 11v05	þa ge_broðra sona ceos{a}n ongunnen . eugenian to	J 12r04	hyre sweartan ge_þohtas . cwæð @ heo wære wydewe
J 11v06	abbude . for hyre arfæstan life . 7 nyston @ heo	J 12r05	on þam geare . 7 hyre w{e}r læfde unlytle {æ} ht{a} on
J 11v07	wæs wimman swa%þeah . Ða wearð @ mæden myc_	J 12r06	lande . 7 on%feo . 7 on fore_wyrcendum . 7 unc næs ge_
J 11v08	clum hoh_ful . hu heo æfre wæras wissian sceol_	J 12r07	mæne . man on ðysum lyfe . Nu is min mod awend
J 11v09	de . Ne dorste swa þeah hi calle gedrefan . 7 hy_	J 12r08	mycclum to ðe . @ þu hlaford beo þær{a} æhta 7 min .
J 11v10	ra ge_þeagt forseon . ac fæng to ðam hade . Hwæt	J 12r09	Ic%wene @ hit ne%sy unrihtwisnysse . ætforan gode .
J 11v11	ða eugenia hym eallum gebysnode mid goddre gedrohtunge . to godes þeowdome . 7 mid carful_	J 12r10	þeah ðe þu wifes bruce . 7 blyse on life . Ða and_
J 11v12	nysse . þonne hyred gewissode . Hyre ge_uðe þa	J 12r11	wyrde eugenia þyssere olecunge . 7 cwæð to þam
J 11v14	se ælmihtiga wealdend . @ heo untrume menn	J 12r12	wife . mid þisum ingehyde . @ ða%gewylnunga þisse_
J 11v15	mihte gehæl{a}n . swa hwylcne swa heo geneosode	J 12r13	re andweardan worulde . synt ‘swiðe’ swicole . þeah þe
J 11v16	licgende on sare . Heo aflygde eac swylce þa fulan deofl{a} . fram ofsættum mannum . þurh	J 12r14	hi geswæse beon . 7 þæs lichoman lustas ge_lome
J 11v17	soðne geleafan . Ða wæs sum wif wælig on æhtum .	J 12r15	be_pæceð . 7 to sarnis_sum gelædað þa þe hi swiðost
J 11v18	melantia gecyged . swiðe þearle ge_dreht . mid lang_sumum feofore . 7 com to ðære femnan . Eu	J 12r16	lufiað . Æfter þissere tihtinge 7 on oðrum larum . be_
J 11v19	genia þa hi gesmyrode . mid gehalgodum ele . 7 eac	J 12r17	clypte () seo mylstestre @ clæne mæden . 7 wolde hi%ge_
J 11v20	ge_mearcode mid rode_tacne . 7 heo @r{e}ðe attor	J 12r18	bygan to bismorlicum hæmede . Hwæt ða eugenia . hi
J 11v21	eall ut aspað . þe hyre dærede . 7 wearþ ge_hæled	J 12r19	ge_bletsode . 7 cwæð to ðære sceande . @ heo soðlice
J 11v22	þurh @ halige mæden . þa bead seo wydewe þam mæ_	J 12r20	wære galnysse ontendnyss . 7 gramena mæge . þeos_
J 11v23	dene sceattas for hyre hæle . ac heo hi forsoc . 7 tihte ða oþre @ heo hi dælde . þearfum 7 wædlum .	J 12r21	tra ge_færa . 7 mid sweartnysse afylled . Deaðes
J 11v24	for%ðam gewissan eadleanne . Ða ge_wænde seo	J 12r22	dohtor 7 deofles fætels . Habban þine æhta þine gelican . we%hab_bað ealle ðing mid þam ælmihtigan
J 11v25	wydwene ham to hyre agenum 7 com siððan gelome .	J 12r23	drihtne . Ða wearð melantia ‘micclum’ . of_sceamod, wende
J 11v26	mid leasum mode to þam wlytegan mædene . wende	J 12r24	@ heo wolde hyre word ameldian . buton heo sylf
J 11v27	@ heo cniht wære . 7 mænig_fealde sceattas hyre	J 12r25	on ær hit openlice cydde . Færde þa ardlice to alexandrian byrig . to þam heah_ge_ræfan . þe wæs
J 11v28	unmæðlice bead . ac þa þa heo geseah . þæt seo soð_	J 12r26	ge_haten philippus eugenian fæder . þeah seo
J 11v29	fæste fæmne hyre laca ne%rohte . ne hyre ru //	J 12r27	
J 11v30		J 12r28	

J 12r29	fule @ nyste . 7 begann hi%to wrægenne . 7 wolde for_	J 12v29	þe ic þider clypode . Ða sædon þa hyred_menn
J 12r30	sægan . cwæð @ heo eode to%hyre licgendre . on læ_	J 12v30	@ hit soð wære . 7 ealle mid aðe%eugenian for_
J 12r31	ces hiwe . 7 hi wolde for_lycgan . gif heo @ bysmor	J 12v31	lугan . þa wearð se ge_ræfa . þearle gebol_
J 12r32	forb{e}ran wolde . ac ic 'h'rymde sona mid sar_licre	J 12v32	gen . 7 axude eugenian . hu heo an{a} mihte //
J 12v01	stæmne . oþ@ an minra wimmanna me wið hine	J 13r01	ealle þa%gewyt{a}n awægan mid aðe . oðð'e' þurh ænige swu_
J 12v02	ahredde . Ða%gelyfde philippus þære facen_fvllan	J 13r02	telunge hi%sylfe aclænsian . Hwæt ða eugenia seo
J 12v03	seгене . 7 swiðe ge_hat_heort . het hi ge_fæccan . 7	J 13r03	æþele fæmne . cwæð @ heo wolde hi%sylfe be_diglian .
J 12v04	eac ða%ge_broðra . ealle ge_bundene . 7 heold hi on	J 13r04	7 criste anum hyre clænnys{e} healdan . on%mægð_
J 12v05	bendum . 7 on blindum cwearterne . oð@ he mid wy_	J 13r05	hade wuniende . mannum uncud . 7 forðy under_
J 12v06	tum . @ wif gewræce . þa com se dæg þe%se%dema()	J 13r06	fænge æt fruman þa gyrlan . wær_lices hades .
J 12v07	ge_sette . 7 wæron ge_georcode þa r{e}ðan wyta . 7	J 13r07	7 wurde ge_efsod . Æfter þysum wordum heo to_tær hy_
J 12v08	wurdon gefætte æt_foran þam deman . þa unscil	J 13r08	re ge_wædu . 7 ætæwde hyre breost . þam breman
J 12v09	digan cristenan . on%swærtum racentægum . Ða cwæð .	J 13r09	phi_lippe . 7 cwæð him to . þu eart min fæder . 7
J 12v10	philippus . mid fullum graman . to eugenian his	J 13r10	þin ge_bædda claudia . ge_bær me to mannum . 7 ðas
J 12v11	agenre dehter . Sege þu 'for'scyldeguda hwi woldest	J 13r11	ðine gesætlan . synd mine gebroðra . auitus . 7
J 12v12	ðu beswican @ mære wif melantian mid for_	J 13r12	særgius . 7 ic soðlice eom eugenia gehaten . þin
J 12v13	ligre 7 on læces hiwe hi forlicgan woldest .	J 13r13	agen dohtor . 7 ic for cristes lufe . forlæt eow ealle . 7 middan_eardlice lustas swa%swa meox for_
J 12v14	Ða cwæð eugenia . @ heo {ea}þe mihte . þæs forly_	J 13r14	for_
J 12v15	res un_hlisan hi beladian . 7 melantian onsaге .	J 13r15	seah . H_er synd eac þa cnihtas . þe ic cydde mine
J 12v16	mid soðe ofer_drifan . gif%philippus wolde gefæst_	J 13r16	digolnysse . protus et iacinctus . þi()ne foster_cyld . mid ðam ic becom to cristes scole . 7 þær on
J 12v17	nian mid aþe . @ seo lease wrægistre ne%wurde	J 13r17	droht_node oð þisne andwærden dæg . 7 ðam ic wyll æfre oð ende þeowian . Ða oncnæow philip_
J 12v18	fordæmed . Ða swor philippus @ he friðian	J 13r18	pus swa swa fæder eugenian . 7 auitus . 7
J 12v19	wolde . þa leasan wudewan . ðeah þe heo gelignod	J 13r19	særgius .
J 12v20	wurðe . þa bæd eugenia @ seo wyn sceolde sægan	J 13r20	hyra agene swyster . 7 hyra hyred_cnihtas . hi ead_mod_lice cyston . þis wearð sona gecyð . claudian .
J 12v21	þam deman hu hit gedon wære . 7 hu heo hyre hlæfdian wið hyre lustas ahrædde . 7 se ge_r{e}fa het eac þa cnihtas . melantian hyredes .	J 13r21	þære m{e}der . 7 heo mid wundrunge wearð be_
J 12v22	'cyðan be ðison gif' hi þis gehyrdon . þa cwæð seo%wyn . @ heo wyste .	J 13r22	fangen . 7 to eugenian com mid ealre blysse .
J 12v23	gefyrn . hu eugenia f{e}rde fracodlice on%for_lygre . 7 wolde þa æt n{e}hstan . hyre h() læfdian	J 13r23	Hi þa ge_fretewodon . þa fæmnan mid golde hyre
J 12v24	gefyrm . hu eugenia f{e}rde fracodlice on%for_lygre . 7 wolde þa æt n{e}hstan . hyre h() læfdian	J 13r24	un_pances . 7 up ge_sætton to him . þa clypode þæt
J 12v25	ge_bysmrian . butan heo mid hream . hyre hræddinge ofclypode . þis witan þas hyred_men .	J 13r25	fole . @ crist wære soð god . 7 hi ealle herod{o}n
J 12v26		J 13r26	þonne hæle_nd mid wuldre . Eugenia hæfde ær
J 12v27		J 13r27	
J 12v28		J 13r28	

J 13r29	ge_þingod . þære leasan melantian to hyre leofan	J 13v25	7 bebead philippe . @ he buge to%his godum . oððe wæ-
J 13r30	fæder . @ heo mid wytum ne awræce hyre welhreo_	J 13v26	re be_næmed . wurð_scipes . 7 æhta . Ða dælde phi_
J 13r31	w{a}n {e}htnyse . ac crist sylf asende swægende	J 13v27	lippus digollice his æhta . geond ealle þa%scyrcyr_
J 13r32	fyr ufan of heofonum . þæt menn onhawoden	J 13v28	cum . 7 þearfum . 7 þurh mycelne geleafan . manega
J 13v01	to melantian botle . 7 hit mid ealle forbernde . swa	J 13v29	oðre getr{y}mode . swa @ ða cristenan hine gecuron
J 13v02	@ ðær næs to lafe nanðing þe hyre wæs . Ða wur	J 13v30	to biscope . Ða æfter twælf monðum gemunde se()
J 13v03	don ge_fullode . philippus . 7 claudia . 7 heora twægen	J 13v31	casere hwæt him gesæd wæs . 7 sænde fram rome .
J 13v04	sunu . mid soðum ge_leafan . 7 seo mæste mæniu . þæs	J 13v32	oðerne ger{e}fan . mid r{e}ðum bebode . swa @ he //
J 13v05	menniscas gebeah . to cristes bigengum . 7 þa cris_	J 14r01	het acwellan þon{e} cristenan philippum . gif hit soð
J 13v06	tenan gegododon . Ða wurdon geædniwode on%ðam	J 14r02	wære . swa him gesæd wæs . Ða com se() ger{e}fa . 7
J 13v07	eahteoðan gearu . þa for_lætanen cyrcan . 7 seo ge_	J 14r03	hine acwællan ne%dorste . on%þæs folces gewytnyss{e}
J 13v08	leafulnyss{e} weox . Philippus þa asende to seue_	J 14r04	for heora freond_rædene . ac asende sume . þe sædon @ hi wæran on%criste ge_lyfede . ac hi lu_
J 13v09	ro þam casere . 7 sæde @ þa cristenan swiðe fremo_	J 14r05	gon swa þeah . Ða eoden to cyrcean mid swið_ licum facne . 7 ðon{e} mæran biscop . {o}n his ge_bæ-
J 13v10	den . his cyne_rice . 7 romaniscere leode . 7 hi wæl	J 14r06	dum ofslogan . ac he wunade swa ðeah on%þam wun_
J 13v11	wyrðe wæron . @ hi wunodon butan æhtnyse . on	J 14r07	dum cucu . geond þreora daga fæc . 7 gefrefrode þa cristenan . 7 swa mid martyrdome . siþ_
J 13v12	ðære ylcan byrig . þe he hi ær of%adræfde . þa%geþa_	J 14r08	þan gewat . to%ðam lifigendan drihtne þe he on life wurðode . Eugenia hæfde . ær%þan asteald
J 13v13	fode se () casere @ ðam ge_ræfan . 7 alexandria seo	J 14r09	myneceana mynster . mid mycelre 'ge'healdsumnyse .
J 13v14	burh sona wearð afylled mid mycclum cristen_do_	J 14r10	7 seo modor claudia . hit micclum gegodod() {e} .
J 13v15	me . 7 manegum cyrcum . 7 on ge_hwylcum burgum . blis_	J 14r11	7 hi þær be_byrgdon þon{e} bisc'e'op philippum . 7 hi
J 13v16	soden þa cristenan . 7 mid wurð_fulnyse . god wur_	J 14r12	siþþan ealle {e}ndemes færdon . seo modor . 7 seo
J 13v17	ðodon . Eac for%þysum intingan . @ ægyptisce folc .	J 14r13	dohtor to ðære mæran rome byrig . 7 ða gebro_
J 13v18	for_lætenum gedwylde . ge_lyfde on drihten . 7 phi_	J 14r14	ðru samod . særgius . 7 auitus . 7 þa romaniscan wytan . hi w{e}l under_fængon . 7 for þære eald{an}
J 13v19	lippus forgeaf fæla eaht{a} þam cristenum . him	J 14r15	cyððe þæs æðelan philippes . þa gesætton þa wytan sona þa cnihtas . on twam
J 13v20	to%gemænan brice . 7 hi gemundode . Æfter þisum	J 14r16	heafod_burgum .
J 13v21	gelamp . @ ða leasan hæðenan . wrægdon philippum .	J 14r17	on healicum wurð_mynte . ænne on affrican . 7
J 13v22	to ðam fore_sæden casere . sædon @ he for_lete þa	J 14r18	oðerne on%cartagine . Eugenia þa wunod{e} on
J 13v23	lifendan godas . 7 ealle þa burh_waræ ge_bigde	J 14r19	
J 13v24	to criste . þa wearð se() casere sona ge_ysod .	J 14r20	
		J 14r21	
		J 14r22	
		J 14r23	

J 14r24	rome . 7 hire coman to gehwylce mædenu . 7 heo	J 14v27	mid heardum swurde on t%owa . And eugenian he het
J 14r25	hi ge_begde mid hyre ge_bysnunge to criste .	J 14v28	his godum ge_offrian . oððe hi man mid wytum wel_
J 14r26	7 hi on mægð_hade wunodon . þurh hyre my_	J 14v29	reowlice a'c'we'a'lde . He het eac acwællan . ealle
J 14r27	negunge . Þa wæs on%rome byrig sum cyne_	J 14v30	þa cristenan . gif hi noldon bugan to ðam bysmor_
J 14r28	boren mæden . basilla gehaten . on hæðen_scype	J 14v31	fullum hæðen_scype . Þa nolde basilla . bryd_guman
J 14r29	wunigende . seo wolde gehyran þa halgan lare .	J 14v32	ge_ceosan . nænne butan crist þe heo ge_coren //
J 14r30	of eugenian muþe . ac heo ne mihte hire ge_	J 15r01	hæfde . 7 wearð þa gemartyrod . for hyre mægð_ha_
J 14r31	nealecean . forðan þe cristen_dom wæs . þær on_	J 15r02	de . æt ham on hire huse . mid heardum sweorde .
J 14r32	scunigend_lic . Ða sende eugenia þa twægen hal_	J 15r03	Æfter þysum wordum . þa twægen godes halgan . protus .
J 14v01	gan . protum . 7 iacinctum . to ðam hæðenen mædene .	J 15r04	7 iacinctus . 'wurdon' sona gelæhte . 7 hi sceoldon geoffrian .
J 14v02	Hwæt þa basilla mid blysse . hi under_fæng . 7 de_	J 15r05	heora lac þam godum . oððe hi sylf{e} sceoldon .
J 14v03	ges . 7 nihtes mid þam deorwurðum halgum godes la_	J 15r06	him beon geoffrode . Hi wurdon þa gelædde . to
J 14v04	re be_code . 7 hyre ge_bæda ne%ge_swac . oððæt cor_	J 15r07	þære laðan anlicnyss . ac heo to_feol sona to
J 14v05	nelius . þæra cristenra biscop hi dearmunga	J 15r08	heora fotum for_molsnod . swa raðe swa þa hal_
J 14v06	ge_fullode . fram eallum ful_nyssum . Ða%wurdon ge_	J 15r09	gan hi to gode ge_bæd_on . Ða cwæp se dema .
J 14v07	lome þa leofan mædenu . Eugenia . 7 basilla . 7	J 15r10	@ hi mid dry_cræfte . þa anlicnyss{a} to_wurpon .
J 14v08	eac se biscop . on sunder_spræce . swiðe gebysgo_	J 15r11	7 wearð ge_bolgen . Het þa be_hæfdian ða halgan
J 14v09	de . 7 digel_lice on nihtum . hi%symble . geneo'so'don .	J 15r12	cyðer{a}s . 7 hi swa ferdon . mid sige to criste . Ðas
J 14v10	7 hæfdon heora gerihtu . mid þam halgen bisco_	J 15r13	martyr{a}s næron næfre on%life þurh wif besmyte_
J 14v11	pe . Þurh ðas twa mædena . manega oðre be_	J 15r14	ne . ac hi wunodon on clænnysse . oð heora lifes
J 14v12	coman to cristes geleafan . 7 to clænre droht_	J 15r15	ænde . mid mycclum ge_leafan . Æfter þysum wearð
J 14v13	nunge . Þurh claudian becoman eac clæne	J 15r16	ge_leaht seo ge_leaffulla eugenia . 7 to þam hæðenan
J 14v14	wudewan . mid godum wyllan . to godes geleafan . 7	J 15r17	temple getogen mid ge_ðreate . þæt heo þære gydenan
J 14v15	fæla cnihta on%crist gelyfden . þurh ða twægen	J 15r18	diane . godes wurðmynt ge_bude . Ða ge_bæd eu_
J 14v16	halgan . protum . et iacinctum . Basilla hæfde_	J 15r19	genia . hi to ðam ælmihtigan gode . 7 @ deofles tem-
J 14v17	enne hæðen()e wogere . pompeius gecyged . swiðe	J 15r20	pel . grund_lunga to_feoll . 7 on eorðan besanc . mid
J 14v18	æðel_boren . þam ge_uðe se casere . @ kyne_borene	J 15r21	eallum his anlicnyssum . Ða het se casere . ahon
J 14v19	mæden . ac heo hæfde gecoren crist hyre to	J 15r22	anne weorc_stan . on hyre halgan swuran . 7 hi be_
J 14v20	bryd_guman . 7 þon{e} hæðenan wogere forþi habban	J 15r23	scufan on%ða ea . Eac se stan to_bærst . 7 heo sæt
J 14v21	nolde . Ða ge_sohte se cniht þæs kaseres fett .		
J 14v22	7 þa romaniscan wytan mid wop_licre ceorunge		
J 14v23	him%mid spræcon . 7 ða mædena wregdon . eugenian .		
J 14v24	7 basillan . biddende his fultumes . Hwæt þa se		
J 14v25	casere cwæð him to andsware . @ basilla sc'e'olde		
J 14v26	ge_bugan to ðam cnihte . oþþe hi man to_heowe .		

J 15r24	up on þam wætere . @ ða cristenan tocnēowan @ crist	J 15v08	ne lufast . On%þam dæge þa%scealt cuman to
J 15r25	wæs mid hyre . seðe hwilon ær þo()ne halgan petrum .	J 15v09	me . þe ic com to mannum . 7 on minre gebyrd_
J 15r26	be%ðære hand{a} gelædde . upp on þam he[a] gan brym-	J 15v10	tide . ðu bist on heofonum gebroht . Þa com
J 15r27	me . @ ða sælican yða hine for_swel_gan ne%mihton .	J 15v11	se cwællere . on cristes akenned_ nysse dæge . a-
J 15r28	Ða het se casere hi siððan bescufan on bymende	J 15v12	send fram þam casere . 7 he @ mæden acwealde .
J 15r29	ofen . þær þær hate baðu wæron . ac þæt fyr wearð	J 15v13	Heo wearð þa gemartyrod . 7 cristene menn
J 15r30	acwænced . 7 þa baðu acolode . 7 ealle ða ontendnys_	J 15v14	hi bebyrgdon . Ða weop seo modor . mid mycelre
J 15r31	sa . mid hyre to_cyme adwæscte . Heo wearð þa gebroht . into blindum cwearterne . 7 geond	J 15v15	sarnysse . æt hyre byrgene . oþ @ heo hi geseah . on
J 15r32	twæntig	J 15v16	gastlicre gesihðe . mid golde gefrætewode . mid ðam heofonlicum werode . þus hi frefrigende .
J 15v01	daga . hyre næs getyðod æniges big_leofan binnan	J 15v17	Min modor claudia . me hæfð gebroht min hæ_ lend crist . to his halgena blysse . 7 minne fæder
J 15v02	ðam þeostrum . ac se() hælend com mid heofonlicum	J 15v18	gelogode on þære heah_fædera getele . 7 þu cymst
J 15v03	leohte . 7 brohte ðam mædene . mærne big_leofon .	J 15v19	to us . nu on sunnan_dæg . Seo modor gewat ðam of%woruld{e} to heofonum on ðam sunnan_dæge .
J 15v04	snaw_hwitne half . 7 on_lihte ðæt cweartern . Þa	J 15v20	7 þa suna hi be_stodon . Sergius . 7 Auitus . 7 hi sið_
J 15v05	cwæð se hælend to%ðam halgan mædene . Eala ðu	J 15v21	ðan þurh_wunodon . on%ðam soðan geleafan . oð
J 15v06	eugenia . ne beo þu afyrht . Ic eom þin hælend .	J 15v22	heora lifes ende . Sy wuldor . 7 lof .
J 15v07	þe þu healce wurðost . 7 mid eallum mode . 7 mæg_	J 15v23	lendan drihtne . on ealra worulda woruld . eal_ ra his wel_dæda . AMEN .
		J 15v24	
		J 15v25	
		J 15v26	
		J 15v27	

註 :

- 1 Leslie A. Donovan, *Women Saints' Lives in Old English Prose* (Cambridge: Boydell & Brewer, 1999) 67.
- 2 Frederic M. Biggs et al. ed., *Sources of Anglo-Saxon Literary Culture*, Vol. 1 (Medieval Institute Publications: Kalamazoo, 2001) 193-196.
- 3 Donovan, 67-68.
- 4 Gapa Roy, "A Virgin Acts Manfully: Ælfric's Life of St Eugenia and the Latin Versions," *Leeds Studies in English* 23 (School of English: Leeds, 1992) 1-27.
- 5 Paul Szarmach, "Ælfric's Women Saints; Eugenia." *New Readings on Women in Old English Literature*. Helen Damico and Alexandra Olsen ed. (Bloomington: Indianapolis, 1990) 146-57.
- 6 写本情報については以下による。
N. R. Ker, *Catalogue of Manuscripts Containing Anglo-Saxon* (Oxford: Clarendon Press, 1957).
Anglo-Saxon Manuscripts in Microfiche Facsimile (ASMMF). Vol. 19. Descriptions by Doane, A. N. (Tempe: Arizona Center for Medieval and Renaissance Studies, 2010).

- 7 島崎里子「Ælfricのmarried saints作品群をめぐって—Diplomatic Texts of Ælfric's Lives of Married Saints, Trial Version」、『昭和女子大学女性文化研究所紀要』第43号（東京：昭和女子大学女性文化研究所、2016）5-6.
- 8 Diplomatic Text (2020) の編集にあたってはBritish Library (London) の多大な協力を得た。記して感謝の意を表したい。
- 9 その他、本テキストで使用されている記号については、Shoko Ono and John Scathill with Keiko Ikegami, Tadao Kubouchi, Harumi Tanabe, Koichi Nakamura, Satoko Shimazaki, Koichi Kano eds. *The Katherine Group: A Three-Manuscript Parallel Text, Seinte Katherine, Seinte Marherete, Seinte Iulienne and Hali Meiðhad with Wordlist*, Studies in English Medieval Language and Literature 32 (Frankfurt am Main: Peter Lang, 2011). を参照のこと。

※本研究はJSPS 科研費 18K00431 の助成を受けて行った研究成果の一部である。

(しまざき さとこ 文学研究科文学言語学専攻准教授)

